

U08a            **On the “hidden variables” of the stochastic biasing**

瀬戸直樹（京大理）

銀河と質量分布の関係（バイアス）が stochastic な特徴を持つことが近年明らかになってきた。最近の宇宙論的な数値シミュレーションによっても銀河形成過程には密度場だけでなく、それ以外の要素（hidden variables）が大きく関与している可能性が示唆されている（*e.g.* Blanton, Cen, Ostriker, & Strauss 1998）。これらの hidden variables は銀河分布から密度場を再構成する際にノイズとして効いてくるが、一方では銀河形成過程を定量的に理解する上で非常に重要な鍵となりうるものである。本研究では大規模構造の観測的研究の観点からノイズとしての側面を分析した。そして、異なるタイプの銀河分布を適当に組み合わせることによって、hidden variables による汚染を減少させる可能性を指摘した。